

# 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立第七小学校

## 1. 本年度の学力・学習調査結果の概要について

- ・国語の調査では、「書くこと」「読むこと」の領域については比較的良好な結果でしたが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、課題が残る結果となりました。昨年度課題となった「書く」領域では、無解答率も少なく改善がみられました。
  - ・算数の調査では、どの領域も全国平均を上回る良好な結果となりました。特に昨年度の課題であった「数量関係」も概ね良好な結果となり改善がみられました。また、どの記述式の問題においても無解答率が下がりました。
  - ・質問紙調査においては、「いじめについて」「自尊感情」「自己有用感」などを含む多くの項目で肯定的な回答の占める割合が全国平均を上回っています。
- 一方で、「将来の夢や目標について」「国語の学習における話す・聞く」などの項目において、肯定的な回答の占める割合が低くなっています。

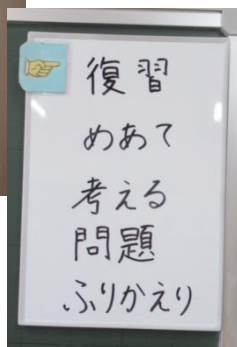
## 2. 各教科における成果と課題について

		成 果	課 題
国 語	○ 知識・理解・技能 ○ 言語についての ○ 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的な回答は73%でした。また、「大切だと思いますか」という質問に対しては94%の児童が肯定的に回答していることから、主体的に国語の学習ができていていると考えています。</li> <li>・ことわざの意味を理解し、自分の表現に用いる問題では、良好な結果が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文中の意味に沿う漢字を正しく使う問題では、文中の意味を考えず答える児童が多くみられました。</li> <li>・接続語を使って文の内容を分けて書く問題に課題があります。それぞれの接続詞の持つ意味や使い方などを考えながら文章を書くことに慣れる必要があります。</li> </ul>
	○ 読む能力 ○ 書く能力 ○ 話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比べ全体的に良好な結果となりました。特に、昨年課題の大きかった「目的に応じて文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にしながら読む」問題で伸びが見られました。</li> <li>・記述式の問題においても「話し手の意図を考えながら聞き、自分の考えをまとめる」問題で70%を超える正答率でした。</li> <li>・書く力の問題においても「図表、グラフの目的」や「記述の工夫をとらえる」選択式の問題でかなり良好な結果が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューにおいて、的確な質問を考えたり工夫したりする問題に課題が見られました。</li> <li>・「目的や意図に応じて自分の意見や考えをまとめて書く」問題では伸びが見られましたが、正答率は30%未満でした。引き続き、目的や意図に応じて意見や考えをまとめたり書いたりする力をつける学習を工夫していくことが必要と考えます。</li> </ul>

算 数	解	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数量や図形についての知識・理</li> <li>○ 関心・意欲・態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「算数の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的な回答は 72%でした。また、「大切だと思いますか」という質問に対しては 95%の児童が肯定的に回答していることから、主体的に算数の学習ができていていると考えています。</li> <li>・図形の領域において、長方形を直線で切った図形の中から台形を選ぶ問題では、96%の児童が正答しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを生活の中で活用することに対しては、肯定的な回答が昨年度より減っています。日常生活に置き換えて考えようとする意欲や態度に結び付いていないと考えられます。</li> <li>・数と計算の領域では、除法の意味を正確に理解するというところに課題がありました。式の意味を読み取り、理解する力をつけることが大切であると考えます。</li> </ul>
	数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的な考え方</li> <li>○ 数量や図形についての技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形についての技能の正答率は 78%で無解答もなく概ね良好な結果となりました。</li> <li>・加法と乗法を混合した計算では 73%、示された計算の仕方を理解し、計算しやすい式にして計算するは 81%の児童が正解しており、計算の仕方については理解できていました。</li> <li>・数学的な考え方の正答率は昨年度を上回る 66%と概ね良好な結果となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形についての技能では、グラフから資料の傾向を読み取り活用する力に課題があることがわかりました。</li> <li>・記述式の問題では、自分の考えを説明する問題よりも、示された図や計算の説明をする問題の無解答率が高く、示されたものを理解し、表現することに課題があることがわかりました。</li> </ul>

### 3. 本校の学力向上に関する現在の取組みについて

#### 〈学びやすい環境づくり〉



すべての子どもが、学びやすい教室環境になるよう、共通の掲示物やタイムタイマーの利用をしています。授業の流れを明確なるよう提示しています。

ICT 機器を有効に活用し、子どもが興味を持って学習活動に取り組み、どの子にもわかりやすく授業を進める工夫をしています。

## 〈一人ひとりの力を伸ばす授業づくり〉



主体的な学習のためにいろいろな教科でペア、グループでの話し合い活動を取り入れています。対話を通じた深い学びにつなげていきます。



高学年の算数では、習熟度別少人数指導に取り組んでいます。一人ひとりが理解を深めるための授業の工夫をし、きめ細やかな指導を心がけています。

## 〈一人ひとりの力を伸ばす取組み〉



「学校図書館を活用した取組み」の充実を図っています。学校図書館を活用した読書活動や授業づくりを計画的に進めています。



1年生は「さやまっ子ティーチャー」の方に主に算数の授業を、3年生は「学習支援チューター」の方に放課後の学習の支援をしていただいています。

## 4. 今後の取組みの方向性について

### 授業づくり

- ・ ペアや3人組、グループでの話し合い活動を取り入れ、学び合う喜びを感じさせ、子ども主体の深い学びにつなげられるような授業づくりをめざします。
- ・ チャイム着席や、学習用具の準備、先生や友達の話をしっかり聞くなどの授業規律を大切にしていきます。
- ・ 読書や宿題、自主学習など家庭での学習を充実させ、基礎学力の定着を図り、めあてを持って自ら学習を進められるような取組みの工夫をします。
- ・ 課題に対して自分の考えをノートに書き、説明する力をつけることができるような授業づくりを推進していきます。

### 集団づくり

- ・なかよし班（縦割り集団）での活動を多く取り入れることにより、周りに対する思いやりの心や、自尊感情、自己有用感を高めます。
- ・毎日の「あいさつ」を大切に、「おはよう」「ありがとう」のあふれる学校をめざします。
- ・人権教育に取り組み、違いを認め合う集団づくりをめざします。
- ・一人ひとりの児童に寄り添い、コミュニケーションをとり、児童の困り感を見逃さない生徒指導をめざします。

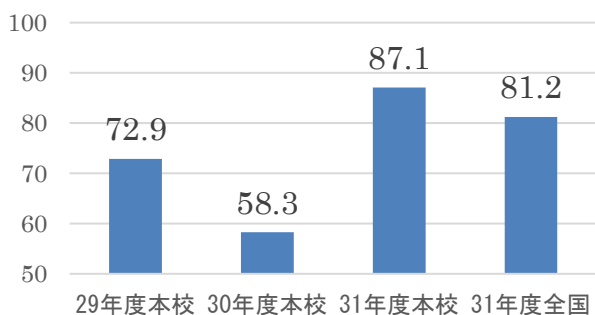
### 体力づくり

- ・年間を通して運動朝礼を実施し、体力向上をめざすとともに、規律正しい集団行動の力をつけていきます。
- ・アウトメディアチャレンジなどを通して、生活習慣を見直すとともに、ゲームやスマホの使い方を啓発していきます。

## 5. 児童質問紙調査の結果の概要

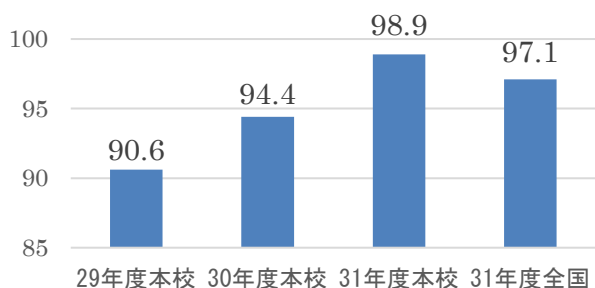
〈取組みの成果があらわれている、特徴的であると思われる事項について〉

### 自分にはよいところがある



「自分にはよいところがある。」と答えた児童の割合が大きく上昇しています。友達や先生から「ありがとう」の感謝の言葉をカードにもらうお手紙チャレンジや縦割り活動などで互いに認め合う活動を通じて自尊感情が高まってきています。

### いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

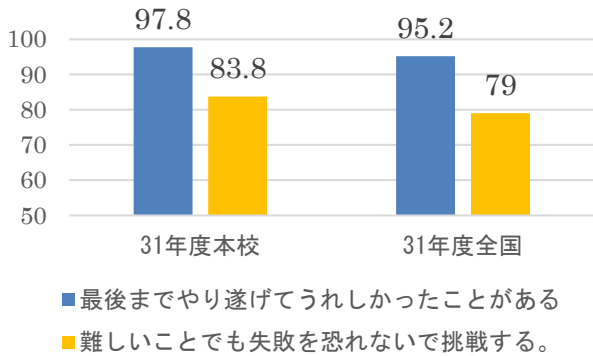


「いじめはどんな理由があってもいけない」という意識を持つ児童の割合がさらに増えています。

また、「人が困っている時に、進んで助けをあげることができる」も一昨年より9ポイント上昇しています。思いやりの気持ちや人権を大切にする心が育ってきています。

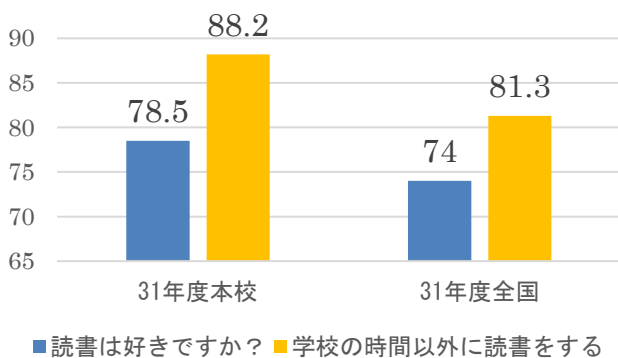


### やりとげる・挑戦



あきらめずに最後までやり遂げられたうれしさや達成感を味わうことが次のチャレンジにつながります。今回の調査でも、そのチャレンジする気持ちが算数・国語の無解答率の低さにも表れており、頑張っ挑戦することの大切さやできた時の達成感を経験している成果だと考えています。

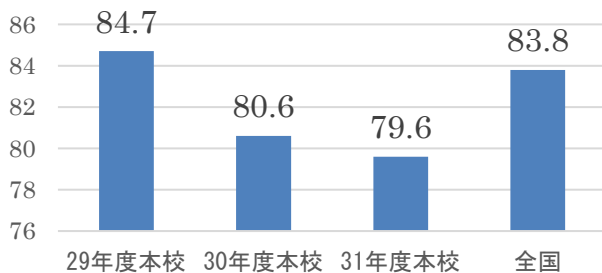
### 読書について



「読書は好き」「どちらかというが好き」を合わせると、75%を超え、また、学校の時間以外でも読書をする児童が88%いました。学級図書などの図書室以外での読書の場の整備やボランティアの方々の読み聞かせの取組みを継続していきます。アニメーション、ブックトークやビブリオバトルといった読書への興味を高める取組みも進めていきます。

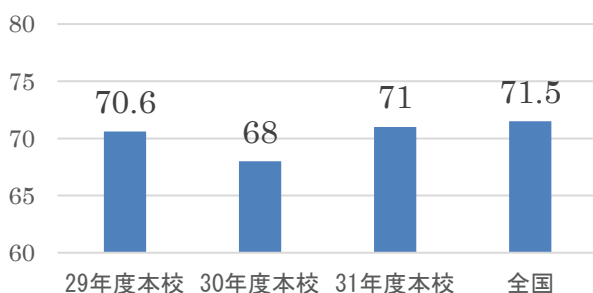
### <今後に向けて、課題と思われる事項について>

#### 将来の夢や目標を持っていますか？



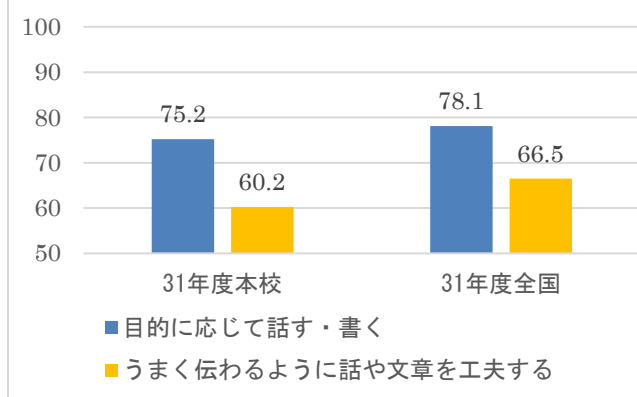
将来の夢や目標を持つことができる児童の割合が減ってきています。ただ、前述したように「あきらめない」「失敗を恐れず挑戦する気持ち」の割合が高いことから、自分の目標をはっきりさせ、挑戦し小さな成功体験を積み重ねる中で将来の夢や目標を持てるように取り組んでいきたいと思ひます。

#### 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



家で自分で計画を立てて学習しているかについては肯定的な回答がほぼ横ばいになっています。家庭学習が学校の宿題や、塾の宿題で終わっていることもあるのではないかと考えられます。主体的に学習する習慣を身につけるためにも自分で計画を立てられるように「家庭学習の手引き」の提示など進めていきたいと思ひます。

## 話す・書く



目的に応じて、うまく伝わるように理由を示しながら自分の考えたことを「話す・書くこと」に課題が見られます。授業での話し合い活動や振り返りを書く時に、ただ自分の思ったことや考えたことを述べるだけでなく、「理由や根拠を明確にする」ことを加えていくように意識させるようにします。そして、そのような活動を多く設定するよう工夫した授業づくりをしていきたいと思っています。

## 6. 保護者・児童のみなさんへ

### 保護者のみなさんへ

- ・昨年度に引き続き、学校のこと、友だちのことをお子さんとしっかりお話をしてくださっているご家庭が多く、とてもうれしく思います。また、「早寝、早起き、朝ごはん」といった規則正しい生活にもご留意いただき、子どもたちが心身ともに健やかでたくましい成長を支援していただいていることもこの調査の結果からみることができました。自分で目的を持ち、計画を立てて学習に取り組み、将来の夢や希望を持つことができるようこれからもご家庭でも、お子さまの頑張りを認め、褒めて育てていただけるようお願いいたします。
- ・国語・算数のどちらの教科においても無解答率が低く、粘り強く問題に取り組むことができました。「読書が好き」と答えている子どもも多く、少しの時間でも学校以外で読書しようとしている姿が見られます。ご家庭でも、読書の大切さなどをお話しいただき家族で本に親しむ時間をとっていただけると嬉しいです。

### 児童のみなさんへ

- ・第七小のみなさんは楽しく学校生活を送り、学校のきまりを守っていじめを許さない気持ちもっている人がとても多くいます。これからも仲間を大切に、より良い集団にしていくために友達としっかり話し合ったり自分がすべきことを考えたりしてほしいと思います。
- ・どの学習にもとても意欲的に粘り強く取り組むことができます。その成果は今回の全国学力学習状況調査にも表れていました。これからは、学んだ事の中から、さらに調べてみたいことや生活に役立てていく方法などを自分から見つけて、学習を深めていってほしいと思います。そして、将来の夢や目標をもち、そこに向かって進んでいってください。